

## あと 庭園跡

Ruins of the Garden

정원 유적

庭園遗址

庭園遺址

明治5(1872)年、明治天皇が鹿児島を行幸した際、同行した写真家内田九一が鹿児島(鶴丸)城の内  
外を撮影しました。城内の写真の中には、庭園の様子を撮った写真が含まれており、奥御書院の姿とと  
ともに池や滝、立石などが配置された端正な庭園の様子を今に伝えています。発掘調査の結果、立石や玉  
石などが確認できたことから、この写真に写っている庭園の一部が土中に残っている可能性が高いこと  
が分かりました。

この鹿児島(鶴丸)城の庭園を構成していた石材は、昭和の初めに旧制第七高等学校のプール建設の  
ため鹿児島市の公会堂(現在の中央公民館)と鹿児島市鴨池動物園の庭園に移設されました。その後、  
鴨池動物園に移設された石材は、鹿児島県歴史・美術センター黎明館の開館にあわせて再び当地に戻り、  
城山遊歩道近くの御池に設置されました。



明治5(1872)年の庭園(御池から鷺の  
間・麒麟の間をみる)



明治5(1872)年の庭園(鷺の間から庭  
園を見る)